

冬道の運転はいつもより慎重に！

<運転者は・・・>

- 出発前に屋根の雪や車の窓ガラスの霜を落として！
皆さんは「赤信号でブレーキを掛けたら屋根の雪がフロントガラスに落ちてきた！」「出発しようと思ったら窓ガラスが凍っていて前が見えない！！」「窓は凍っていないけど、窓が曇る…。」etc...こんな経験ありませんか？
車体の雪は全て降ろし、余裕をもって、出発前にあらかじめエンジンをかけるなど、車の窓の視界を確保してから運転を開始しましょう！



～出発時間が遅くなれば気持ちが焦る！
安全運転は早めのエンジンスタートから～

- 雪が降らなくとも、道路は凍る！！
日陰はもちろん、山間部やトンネル出入口、橋梁だけでなく、街の中でも朝晩冷え込むと道路は凍結します！雪が降っていない状況でも、道路が濡れているように見える路面凍結（ブラックアイス）状態の時もあります。
早朝や夜間など運転する際は路面の状態を予測しながら運転しましょう



- 急のつく運転操作は厳禁！！
積雪や凍結路面においては急ハンドル、急ブレーキ、急加速などの「急」のつく運転操作は厳禁です。
運転は慎重に、長めの車間距離、スピードを抑えた運転をしましょう！！



<歩行者は・・・>

- 「意思表示」と「予測」が重要！！
運転手に「道路を渡る」という意思表示をしましょう！
接近する車両が「速いか遅いか」、接近してくるまでに渡りきれるか「予測」し、横断歩道がない場所では、無理に横断せず、車両が「停止」する「通過」するまで待ちましょう！
- 横断中も車は接近しています！
進行方向ばかりに気を取られてはいけません！横断中も車が迫っています！横断中も左右の安全確認をしながら渡りましょう！
- 「出るなら昼間 夜なら光れ」！！
夜間は運転手から歩行者が見えていない（歩行者に気付いていない）ことも多くあります。「運転手は自分に気づいている」という思い込みを持たないことが重要です！
夜光反射材やライトを着用して、自分の存在を運転手に気付かせてください。
「一つだけでなく、複数つける」とより効果的です！

